

平成 16 年度（第 48 回）
岩手県教育研究発表会発表資料

社会／地歴・公民

小学校社会科における主体的に考える力を高める 学習指導に関する研究

—社会的事象への「かかわり」をもたせる
体験的な活動を組み入れて—

平成 17 年 2 月 8 日
長期研修生
所属校 盛岡市立北松園小学校
佐 瀬 智 洋

<目次>

I	研究目的	1
II	研究仮説	1
III	研究の内容と方法	1
1	研究の内容	1
2	研究の方法	2
3	授業実践の対象	2
IV	研究結果の分析と考察	2
1	小学校社会科における主体的に考える力を高める学習指導に関する基本構想	2
(1)	小学校社会科における主体的に考える力を高める学習指導に関する基本的な考え方	2
(2)	社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動について	3
(3)	社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動の指導過程への組み入れ方について	4
(4)	小学校社会科における主体的に考える力を高める学習指導に関する基本構想図	6
2	手だてにかかわる実態調査及び調査結果の分析と考察	6
(1)	実態調査計画	6
(2)	実態調査の分析と考察	7
(3)	実態調査の結果から明らかになったことと手だての試案作成上の配慮事項	8
3	社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動を組み入れた学習指導についての手だての試案	9
(1)	手だての試案	9
(2)	検証計画	10
4	授業実践及び実践結果の分析と考察	10
(1)	授業実践の概要及び分析と考察	10
(2)	主体的に考える力の構成要素「気付く力」の育成状況	17
(3)	主体的に考える力の構成要素「関係付ける力」の育成状況	17
(4)	主体的に考える力の構成要素「まとめる力」の育成状況	19
5	小学校社会科における主体的に考える力を高める学習指導に関する研究のまとめ	20
(1)	成果	20
(2)	課題	20
V	研究のまとめ	20
1	研究のまとめ	20
2	今後の課題	21

<おわりに>

【参考文献】

【補充資料】

I 研究目的

小学校社会科学習指導のねらいは、児童が、社会的事象に積極的にかかわり、将来にわたって社会生活を主体的、創造的に営むために必要な知識を身に付け、社会事象に対する見方、考え方を豊かにし、それらを学習や生活の中で生かすことができるようにすることにある。そのためには、社会的事象を具体的に調査、観察し、各種の資料を効果的に活用して、調査したことを表現する力とともに、社会的事象の意味を意欲的に追究し続ける力を育てなければならない。

しかし、小学校社会科における児童の実態をみると、学習活動に進んで取り組んでいるとは言い切れない場合がある。また児童に社会的事象を考えるための視点や解決の仕方が十分には身に付いておらず、日常生活を含めたさまざまな問題場面に出会ったとき、自分なりに考え解決していくことができない状況が見られる。それは、社会科の指導が知識を身に付けさせることを重視することから、教師が一斉指導の中で知識を教え込む指導になりがちであるためと思われる。

このような問題を改善するためには、社会科の学習を問題解決的な指導過程で進め、その中に、社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動を組み入れることによって、児童中心の学習を展開し、社会的事象の見方・考え方等の学習の仕方を身に付けさせて、社会的事象の意味を主体的に考える力を高める必要がある。

そこで、この研究は、小学校社会科学習において、社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動を組み入れることによって、主体的に考える力を高める学習指導の進め方を明らかにし、小学校社会科の指導の充実と向上に役立てようとするものである。

II 研究仮説

小学校社会科の学習を問題解決的に進め、児童中心に展開し、その中にA～Cのような社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動を組み入れて指導すれば、社会的事象の意味を主体的に考える力を高めることができるであろう。

- A 社会的事象に対する見方・考え方等の視点、学習の手順や技能を学びとらせる活動
- B 社会的事象を自分自身や自分の生活との関連でとらえさせる活動
- C 自分なりの考えを交流させ、新たな考えに再構成させる活動

III 研究の内容と方法

1 研究の内容

- (1) 小学校社会科における主体的に考える力を高める学習指導に関する基本構想の立案

小学校社会科における主体的に考える力を高める学習指導と、社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動に関する基本的な考え方を踏まえて、基本構想を立案する。

- (2) 手だてにかかわる実態調査及び調査結果の分析と考察

社会科の学習に対する児童の経験や学習指導の実態を調査し、その分析と考察を行い、問題点と要因を把握し、手だての試案の作成に役立てる。

- (3) 社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動を組み入れた学習指導についての手だての試案の作成

基本構想と実態調査の結果に基づき、小学校社会科学習において、主体的に考える力を高めるための手だての試案を作成する。

(4) 授業実践及び実践結果の分析と考察

手だての試案に基づき、社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動を組み入れた授業実践を行い、その分析をとおして、主体的に考える力の育成状況を考察する。

(5) 小学校社会科における主体的に考える力を高める学習指導に関する研究のまとめ

社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動を組み入れた授業実践の成果と課題に基づき、小学校社会科における、児童の主体的に考える力を高める学習指導についてまとめる。

2 研究の方法

(1) 文献法

小学校社会科における先行研究や文献などを参考にし、「主体的に考える力を高める」ことについての基本構想を立案する。

(2) 質問紙法

手だての試案作成の資料とする小学校社会科における経験や学習指導についての実態を把握するために、研究者が作成した調査紙で調査を実施し、その結果について分析し考察する。

(3) 授業実践

手だての試案に基づいた授業実践を行い、手だての試案の妥当性について検証する。

(4) テスト法

「主体的に考える力」の育成状況を把握するために、研究者が作成した問題でテストを実施し、その結果について分析し考察する。

3 授業実践の対象

盛岡市立北松園小学校 第3学年 1学級（男子15名 女子17名 計32名）

IV 研究結果の分析と考察

1 小学校社会科における主体的に考える力を高める学習指導に関する基本構想

(1) 小学校社会科における主体的に考える力を高める学習指導に関する基本的な考え方

ア 小学校社会科における主体的に考える力とは
「主体的」とは、自分の考えや立場を明確にもって行動する態度である。また「考える」とは、既知の事項を生かしながら論理的に思いをめぐらせることである。そこで、小学校社会科において主体的に考える力とは「教科の学習の仕方によって自らの意志で社会的事象の意味を追究する力」ととらえる。この力の構成要素を【表1】のように考える。

【表1】主体的に考える力の構成要素と意味

構成要素	構成要素の意味
気付く力	事実をつかみ、自分なりの学習問題を設定する力
関係付ける力	調べ方にそって自ら調べ、意味をとらえる力
まとめる力	自分の考えで情報を選び、表現する力

児童は、既知の知識や生活経験を踏まえて社会的事象に対面し、さまざまな事実に関心をもち、疑問、驚き、共感を覚える。そして、それらを考察したり他の事実と比較したり、自分の生活との関連を考えたりしながら、中心的事実をつかみ、学習問題を設定する。この過程において培われるのが「気付く力」である。

設定した学習問題を解決するにあたっては、これまでの学習経験を踏まえて予想を立て、それを解き明かすために観察したり資料を分析・考察したりしながら、学習問題の意味をとらえる。この過程において培われるのが「関係付ける力」である。

これらの「気付く力」や「関係付ける力」に支えられて、児童は問題事象の原因や背景について調べ、友達と考えを交流しながら構造的・全体的に理解し、自分なりに納得する。それは、以前の自分の考えが新たに変わったという再構成の自覚でもある。この過程において培われるのが「まとめる力」である。これら三つの力が高まっていくことで、児童一人一人の中に主体的に考える力が培われると考える。

以上のことから、本研究で目指す、主体的に考える力が高まった児童の姿を、「教科の学習の仕方にそって自らの意志で社会的事象の意味を追究する児童」ととらえる。

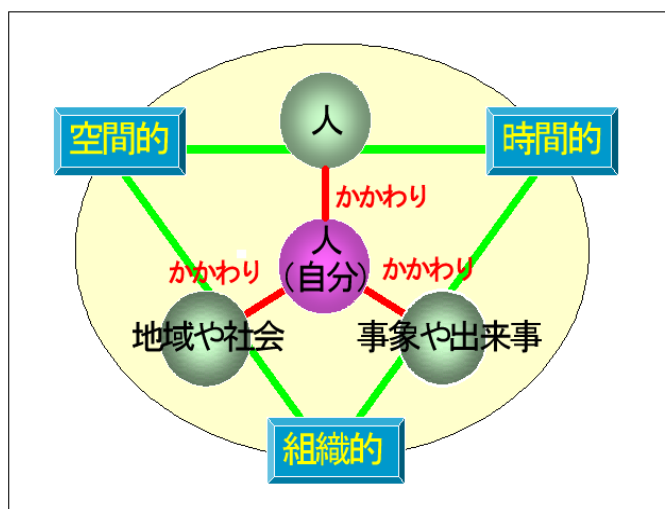
イ 主体的に考える力を高めることの意義

今日のように社会が激しく変化する時代にあっては、学校では学ばない事項も多く、ただ単に知識を暗記しただけでは対応できない状況が増えている。したがって、児童が将来の学習や生活の場においてさまざまな問題場面に出会ったとき、自分の既知の知識や技能を応用・発展させて問題を解決していくことが強く求められている。そのために社会科の学習では、一人一人の児童の中に、問題を発見し、その解決の方法を自分なりに考え、実際に解決する力が培われなければならない。それは、学習をとおして得た知識や技能、望ましいものの見方や考え方、思考や判断の仕方等を身に付け、学習や生活の中で新たな問題解決の場面等に出会ったとき活用できるようになることである。このことを可能にするのが「主体的に考える力」である。これを高めることは、児童が将来にわたってたくましく生きていく上で価値のあることである。とりわけ、本研究の対象である小学校3年生の児童は、社会科に初めて出会う学年であり、この力をしっかりと育てたい。それは、この時期に学習の仕方を身に付けることによって、以後の単元や学年でも使える社会科の力となると考えるからである。

(2) 社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動について

ア 社会的事象への「かかわり」をもたせることの意義

人間は誰でも、さまざまな人々や社会、自然等と関係をもちながら生きている。【図1】は、それらの関係を図に表したものである。社会科はこの図のように、人間と人間、人間と地域や社会、人間と事象や出来事との関係を、時間的・空間的・組織的な中でのつながりといった「か



【図1】「かかわり」をもたせることの意義

かわり」で取り上げ、具体的な社会的事象をとおして社会の仕組みや成り立ち、社会の在り方や人間の在り方を学ぶ教科である。したがって、これらの「かかわり」がなければ社会科学習は成立しないと考える。

近年、少子化や情報通信ネットワークの拡充が進む中で、児童が社会事象に直接的に「かかわり」をもつ場が不足し、児童の社会的事象に対する見方・考え方が培われる機会も少なくなっていると思われる現状がある。そこで、社会科の学習をとおして、児童一人一人に社会事象と積極的にかかわらせ、社会的事象への見方・考え方等の視点、学習の手順や技能を身に付けさせていくようにしなければならない。このように社会的事象への「かかわり」をもたせ

ることによって、社会的事象への見方・考え方等の視点、学習の手順や技能といった社会科の学習の仕方を身に付けることは、主体的に社会事象について考えていく第一歩となると考える。

イ 体験的な活動の意義

児童の自然体験、社会体験、生活体験などの不足から、社会事象に直接かかわる機会が少なくなってきたことが指摘されている。また、断片的な知識は豊富だが、それらが実際の生活と必ずしも結び付いていない状況が見られる。このような問題を克服するためには、児童一人一人に具体的で実感をともなう活動を行わせながら、自分のよさや可能性を発揮できる学習に取り組ませる必要があると考える。この学習活動が体験的な活動である。

社会科の学習に体験的な活動を組み入れれば、児童一人一人が能動的に活動に取り組み、教師中心の指導から児童中心の学習への転換を図ることができる。そのことにより、自ら学ぶ意欲や思考力、表現力などの資質や能力の育成を図ることができるようになる。また、社会的事象を身近なものとしてとらえさせ、地域社会や児童の生活に根ざした学習を展開することができる。このような学習の展開は、社会科の学習を楽しいものにし、自分なりのものの見方や考え方といった、考える力を豊かにしていくものである。

ウ 体験的な活動の種類と社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動との関係

体験的な活動は、そのもの自体が学習上の意義をもつのであるが、それを単に量的にたくさん取り入れれば良いというわけではない。限られた指導時間も考えると、いかに効果的に組み入れるかが問題である。

次頁【表2】は、体験的な活動の種類と社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動との関係をまとめたものである。

本研究の実践では、この表の網かけ部分に示した以下の活動を特に重点的に取り上げて、指導過程に組み入れることにする。

- ・ A「社会的事象に対する見方・考え方等の視点、学習の手順や技能を学びとらせる活動」として、調べる活動（A4）、見学・観察する活動（A5）、操作・構成活動（A6）、作品にまとめる活動（A8）
- ・ B「社会的事象を自分自身や自分の生活との関連でとらえさせる活動」として、調べる活動（B4）
- ・ C「自分なりの考えを交流させ、新たな考えに再構成させる活動」として、人とのふれあいがある活動（C7）

他の単元や学年での実践における体験的な活動も次頁【表2】中のA3～C8のどこに位置付けるか整理することによって、活動のねらいや育てる資質や能力を明らかにすることができる。と考える。

(3) 社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動の指導過程への組み入れ方について

本研究では、問題解決的な指導過程で学習を進める。その過程は大きく「つかむ」「追究する」「まとめる」の三つの段階とする。

「つかむ」は社会的事象との出会いから学習問題を設定するまで、「追究する」は計画に基づいて実際に調べ問題の解決を図るまで、「まとめる」は学習したことを総括し表現するまで（場合によっては新たな問題を発見するまで）である。

これらの過程の中に次頁【表2】で取り上げた社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動を組み入れて整理したものが次頁【表3】である。

【表2】 体験的な活動の種類と社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動との関係

体験的な活動の種類	具体的な活動例	社会的事象への「かかわり」をもたせるための体験的な活動		
		A 社会的事象に対する見方・考え方等の視点、学習の手順や技能を学びとらせる活動	B 社会的事象を自分自身や自分の生活との関連でとらえさせる活動	C 自分なりの考えを交流させ、新たな考えに再構成させる活動
1 実際にやってみる活動	・七輪で火をおこす活動 ・お茶を立てたり、水墨画を描いたりする活動		B 1	
2 まねてやってみる活動	・放送局で働く人々の学習の後に、自分たちで放送番組を作る活動 ・地域の開発の様子を劇に表す活動		B 2	
3 ものをつくる活動	・土地の様子を立体地図に表す活動 ・土器をつくる活動	A 3	B 3	
4 調べる活動	・地域の消火施設のある場所や数を調べる活動 ・学校の蛇口の数を調べる活動	A 4 ●毎日の買い物調べカードをつくり、家での買い物の様子を調べる活動	B 4 ●品物の表示を調べ、自分でもできることを考える活動	C 4
5 見学、観察する活動	・清掃工場や消防署などを見学する活動 ・屋上から地域の様子を眺めて特徴をつかむ活動	A 5 ●スーパーマーケットを見学し、店員の働く様子を観察する活動		
6 操作・構成活動	・自動車ができるまでの主な工程をカードに書き、順に並べる活動	A 6 ●資料の見方・考え方をつかんだり、学習問題を設定したり、学習計画を立てたりする活動 ●買い物調べカードを店ごとに分類し、回数を数えて整理する活動		C 6
7 人とのふれあいがある活動	・店員や客にインタビューする活動 ・お年寄りと一緒に昔の遊びを楽しむ活動	A 7	B 7	C 7 ●学習問題や追究した内容について話し合う活動
8 作品にまとめる活動	・新聞、絵本などの作品にまとめる活動	A 8 ●学習してわかったことを紙芝居にまとめ、発表する活動	B 8	C 8

「注」 表中のA4～6、A8、B4、C7の網かけの活動は、本研究の実践に組み込むものを表す

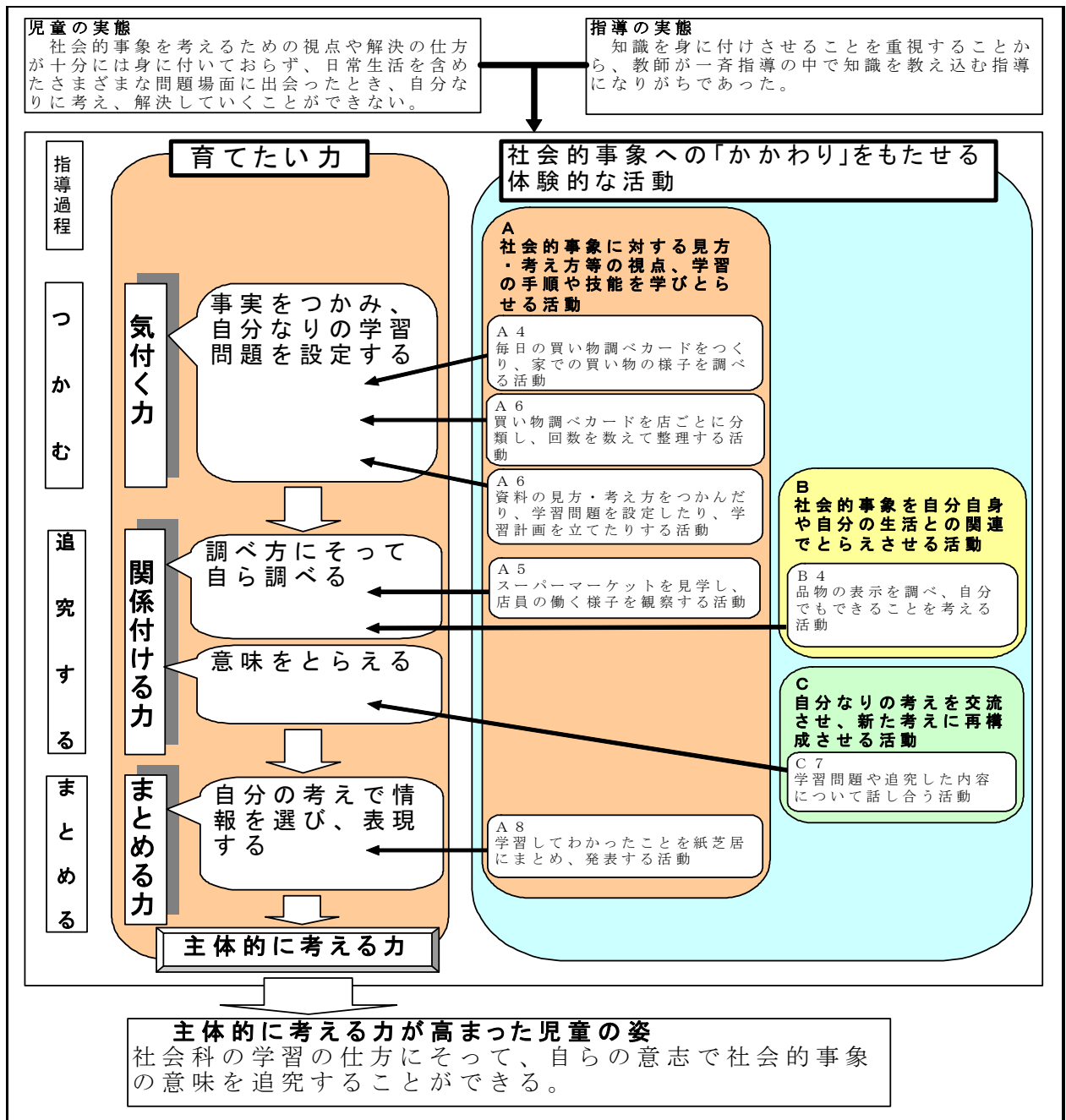
【表3】 社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動の指導過程への組み入れ方

段階	A 社会的事象に対する見方・考え方等の視点、学習の手順や技能を学びとらせる活動	B 社会的事象を自分自身や自分の生活との関連でとらえさせる活動	C 自分なりの考えを交流させ、新たな考えに再構成させる活動
つかむ	・実物や資料などの見方・考え方を身に付ける活動 ・学習問題を決定する活動 A 4：毎日の買い物調べカードをつくり、家での買い物の様子を調べる活動 A 6：買い物調べカードを店ごとに分類し、回数を数えて整理する活動 A 6：資料の見方・考え方をつかんだり、学習問題を設定したり、学習計画を立てたりする活動	・自分の生活と学習内容を結びつける活動	・生活経験や学習内容を基にして立てた予想を話し合う活動
追究する	・実際にその行為を行ったり、知っている人の説明を聞いたり、調べたり、観察したりする活動 A 5：スーパーマーケットを見学し、店員の働く様子を観察する活動	・直接人やものとかかわる活動 B 4：品物の表示を調べ、自分でもできることを考える活動	・追究した内容について自分なりの考えを持ち、児童それぞれの考えを交流し合い、考えたことをまとめた整理したりする活動 C 7：学習問題や追究した内容について話し合う活動
まとめる	・自分なりの考えを表現する活動 A 8：学習してわかったことを紙芝居にまとめ、発表する活動	・学習をとらえて得た知識や考え方をその後の生活に生かす活動	・学習してわかったことを発表し、互いの考えを聞き合う中で自分の考えを再構成する活動

「注」 表中のゴシックの活動は、本研究の実践で取り上げる体験的な活動を表す

(4) 小学校社会科における主体的に考える力を高める学習指導に関する基本構想図

これまで述べてきたことを基に、小学校社会科における主体的に考える力を高める学習指導に関する基本構想図を【図2】のようにまとめた。



【図2】主体的に考える力を高める小学校社会科の学習指導についての基本構想図

2 手だてにかかわる実態調査及び調査結果の分析と考察

(1) 実態調査計画

ア 目的

この調査の目的は、社会科の学習に対する児童の経験の実態を把握し、社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動を組み入れた学習指導についての手だての試案作成に必要な資料を得ることである。

イ 調査の対象

盛岡市立北松園小学校 第3学年 1学級 (男子15名 女子17名 計32名)

ウ 調査日時

平成16年7月20日（火） 3校時

エ 調査と処理の方法

- (ア) 研究者が先行研究や参考文献を基に作成した質問紙による調査を行う。
- (イ) 評定尺度を設けた設問は、回答の傾向を分析し考察する。
- (ウ) 自由記述による設問は、回答内容を分類し、分析・考察する。

オ 調査の内容

実態調査の観点及び設問の内容は【表4】のとおりである。なお、調査紙を【補充資料】に示す。

【表4】実態調査の観点及び設問

観 点	設 問	設 問 内 容	手だてへの生かし方
発言にかかわる実態	1	みんなの前で進んで発表しているか	意見交流における配慮事項を把握し、活発な意見交流ができるよう工夫する。
	2	みんなの前で進んで発表できない理由は何か	
児童の生活経験と学習活動との関連についての実態	3	社会の勉強中に、今までの生活の中でやったこと見たこと聞いたこと、勉強してわかったことなどを思い浮かべて考えたことがあるか	児童の生活経験と学習内容との関連について配慮事項を把握し、それらを結びつけるように発問や視点の与え方を工夫する。
	4	どのようなことを思い浮かべて考えているか	
学習の楽しさを感じた経験にかかわる実態	5	1学期の社会科の勉強の中で、楽しかったのはどのような活動をしたときか	児童が主体的に行う学習活動における配慮事項を把握し、体験的な活動の組み入れ方を工夫する。

(2) 実態調査の分析と考察

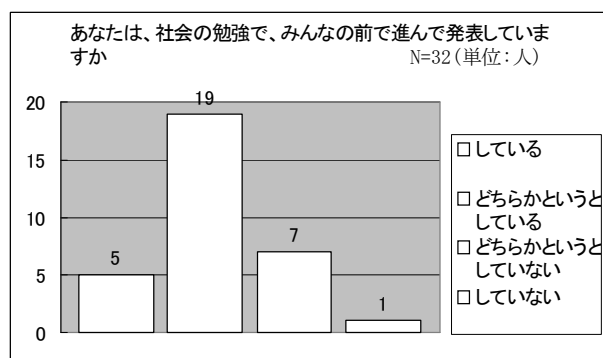
ア 発言にかかわる実態

- (ア) みんなの前で進んで発表しているかどうかの実態

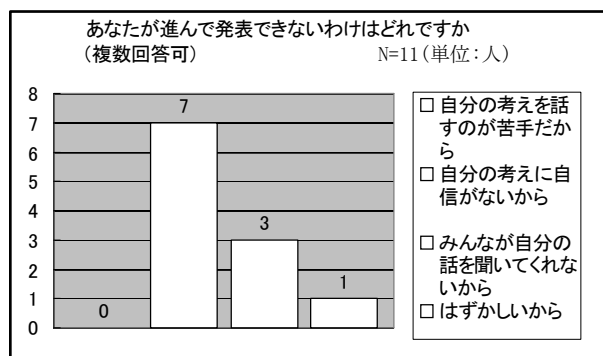
【図3】は、社会科の学習において、自分の考えをみんなの前で進んで発表しているかどうかの調査結果をグラフにしたものである。この結果を見ると、「どちらかというとしている」が19名と一番多く、「している」という5名を合わせると、3分の2以上の児童が自分の考えをみんなの前で進んで発表していることが分かる。

- (イ) みんなの前で進んで発表できない理由の実態

【図4】は、自分の考えをみんなの前で発表できない理由についての調査結果である。「自分の考えに自信がないから」が7人で一番多く、次いで「みんなが自分の話を聞いてくれないから」が3人となっている。



【図3】みんなの前で進んで発表しているか



【図4】みんなの前で進んで発表できない理由

イ 児童の生活経験と学習活動との関連についての実態

(ア) 社会の勉強中に、今までの自分の生活の中でやったこと見たこと聞いたこと、勉強してわかったことなどを思い浮かべて考えたことがあるかの実態

【図5】は、社会の勉強中に生活経験や既知の学習内容と結びつけて考えたことがあるかどうかについての調査結果である。「あまりない」が19人で一番多く、「ない」の3人と合わせると学級全体の3分の2の児童が、日常生活と学習内容のつながりを意識していないことが分かる。

(イ) どのようなことを思い浮かべて考えているかについての実態

【図5】の「よくある」「ときどきある」と答えた10名の児童の中で、6人から、右の5つの回答があった。

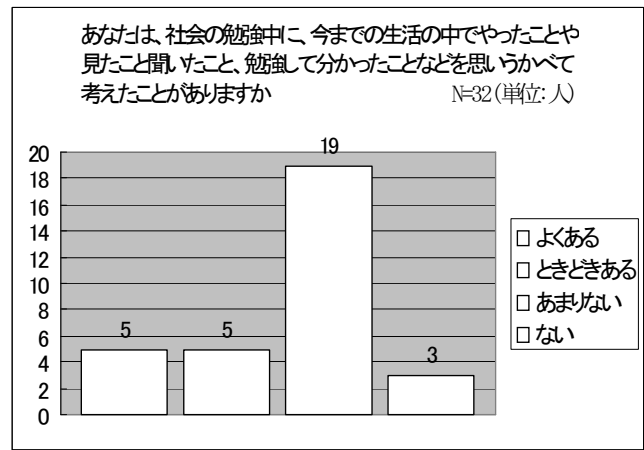
ウ 1学期の社会科の学習の中で楽しかったのはどのような活動をしたときかについての実態

【図6】は、児童が1学期の社会科の学習の中で楽しかったのはどのような活動をしたときかについての調査結果である。「社会科見学」と書いた児童が27人と一番多かった。

(3) 実態調査の結果から明らかになったことと手だての試案作成上の配慮事項

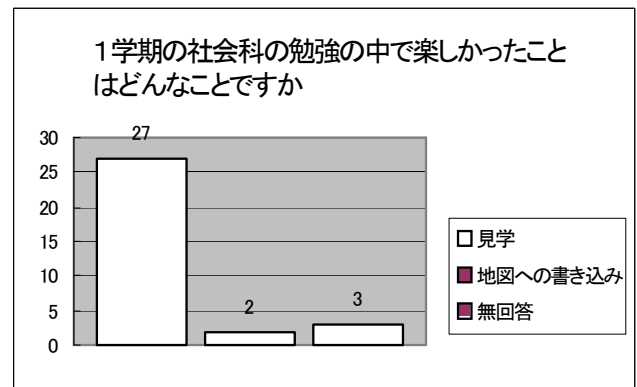
ア 問題点

- ・みんなの前で進んで発言できない理由として、「自分の考えに自信がないから」「みんなが自分の話を聞いてくれないから」を挙げている児童が合わせて10名いた。これは、クラス全体の約3分の1に当たり、このままでは、クラス全体の活発な話し合いが難しい。
- ・生活の中で経験したことや知っていることと学習した内容を結びつけて考えたり発言したりしたことが「ない」「あまりない」と答えた児童は22名いた。これは、クラス全体の約3分の2に当たる。小学校社会科の目標の一つである「社会事象に対する見方、考え方を豊かにし、それらを学習や生活の中で生かす」ことが不十分な状況と言える。
- ・1学期の社会科の学習で楽しかったという回答のほとんどが「見学」であった。見学活動そのものの楽しさであり、活動をとおして「わかって楽しかった」という知的喜びを挙げている児童は一人もいなかった。



【図5】 社会の勉強中に今までの生活中でやったこと見たこと聞いたこと、勉強してわかったことなどを思い浮かべて考えたことがあるか

- ・なぜ「マリオス」という名前が付いたのか、前から考えていた
- ・盛岡市の中心部こなせ建物が集中しているのが知っていた
- ・前に勉強した方角を思い出して、東西を答えることができた
- ・マリオスの展望室から見て、どちらが東西南北なのか考えた
- ・見学した後、そのときに持っていったものやしたことを思い出した



【図6】 1学期の社会科の学習の中で楽しかったのはどのようなことか

イ 要因

- ・考える時間の保障がないために、自分の考えをまとめることができず、自分の考えに自信がもてなかったり、自分の考えが友達に認められた経験が少なかったりしたために無力感を感じているものと考えられる。
- ・生活経験と学習内容を結びつけて考える学習訓練が不十分であることや、その必要性を感じていないこと等が考えられる。そのため、生活経験と学習内容は別であるにとらえているものと考えられる。
- ・実際にやってみる体験的な活動は児童の印象に強く残っているものの、何を明らかにするための見学か、児童にその必然性が浸透していなかったと思われる。そのため、見学することが問題追究する過程ではなく、目的になってしまったものと考えられる。

ウ 手だての試案作成上の配慮事項

- ・児童が考えるための時間の保障をすることや、班などの小グループで考えを交流させる機会をつくること
- ・生活経験と関連付けて考えられるような発問を工夫すること
- ・児童に見学活動などの体験的な活動の目的をはっきりもたせること

3 社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動を組み入れた学習指導についての手だての試案

(1) 手だての試案

実態調査から明らかになった配慮事項に基づき、社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動を組み入れた学習指導の手だての試案を、次の【表5】のように作成した。

【表5】社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動を組み入れた学習指導の手だての試案

段階	学 習 活 動	指導の手だて A B C	指導上の留意点（・は一般的な留意点、○は手だてにかかわる工夫や留意点）
つ か む	1 社会的事象と出会う ・社会的事象の中心的事柄をつかむ	A 4 : 調べ方	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に驚き、興味、関心をもたせるような活動を工夫する ・社会的事象から事実をとらえさせる ○生活経験を振り返って比較させ、疑問、矛盾、問題点をもたせる ・さまざまな疑問などを小グループで交流し合い、学習問題を決める
	2 学習問題を設定する ・社会的事象から疑問、問題点等を明らかにする ・学習問題を決める	A 6 : 問題づくり	
	3 予想を立てる	A 6 : 計画づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの学習内容や生活経験を基にして、学習問題に対する予想を立てる ○焦点化するために、調べる方法に条件を設ける ・学習問題に対する予想を立て、解決に必要な活動、資料を考えさせる
	4 学習計画を立てる		
追 究 す る	5 課題を追究する ・自分の考えを活動や資料によって調べる ・資料を基に社会的事象の意味や条件、問題などを明らかにし、自分の考えと比べる	A 5 : 見学活動 B 4 : 自分の生活からも考える	<ul style="list-style-type: none"> ・説明を聞いたり、調べたり、観察したりする活動をおして解決させる ○調べる方法の条件をふまえて、段階的に見学活動を組む ①目と耳のみで観察する ②インタビューする ○直接人とかかわらせたり、ものにかかわらせたりする活動から、社会的事象を身近なものとしてとらえさせる
	6 調べたことを基に話し合う ・学習問題の意味を明らかにする	C 7 : 話し合い活動	
	7 学習問題を解決する		<ul style="list-style-type: none"> ○時間を十分に確保し、小グループでの交流も取り入れて話し合い活動を行わせ、多面的な見方・考え方から問題解決のための結論を導き出させる ・児童の考えを交流させ、自分の考えを再構成させる
ま と め る	8 追究した内容をまとめる ・必要な情報を選択し、表現する ・自分の感想をもつ ・新たな問題を発見する	A 8 : まとめ方	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの考えを表現させ、追究した社会的事象の内容を理解させる ○学習した内容を自分の生活に生かしたりできるような考えを入れて、作品にまとめる

「注」表中の手だてのA 4～6、A 8、B 4、C 7は【表2】による

(2) 検証計画

授業実践をとおして、手だての試案の妥当性を見るために次のような検証計画を作成し、検証を進めることとする。

小学校社会科における主体的に考える力の育成状況にかかわって、構成要素の「気付く力」「関係付ける力」「まとめる力」についてテスト法による調査問題を作成し、事前と事後に実施してその結果を比較する。その検証計画の概要は、次の【表6】に示すとおりである。また、ノートや作品の記述内容及び授業中の様子を【表7】に示す判断の観点と基準により分析・考察して、テスト結果と関連付けてまとめる。

【表6】検証内容と方法及び処理の方法

検証項目	検証内容	検証方法	処理・解釈の方法
主体的に考える力の育成状況	気付く力	・テスト法で事前事後に実施	・t検定により、結果を分析し考察する
	関係付ける力	・観察 ・ノートやプリントへの活動の記録 ・授業の感想 ・作品の中での記録内容	・判断するための基準に基づき、ノートやプリントへの記述内容や授業中の発表の様子、授業の感想や作品の記述内容について分析し考察する
	まとめる力		

【表7】三つの構成要素について、ノートや作品の記述内容や授業中の様子から判断するときの観点と判断するための基準

構成要素	判断項目	判断の観点	判断するための基準		
			A	B	C
気付く力	事実を正しく認識し、学習問題を設定できる	社会的事象からさまざまな事実をとらえ、追究する価値のある学習問題をつくることができるか	さまざまな事実を既知の学習内容や生活経験と結びつけて、的確に読み取り、学習問題をつくる	さまざまな事実を読み取り、その内容から学習問題をつくる	事実を読み取ることができなかつたり、学習問題をつくることができなかつたりする
関係付ける力	学習問題を追究できる	学習問題を解決するための計画を立てることができるか	対象、調べ方を明らかにして、既知の学習内容や生活経験をふまえながら、学習計画を立てる	調べ方にそって学習計画を立てる	学習計画を立てることができない
		学習問題を解決するためにさまざまな方法にそって調べることができるか	さまざまな解決方法で友達と協力しながら、自ら対象に働きかけて調べる	解決方法にしたがって、自分で調べる	友だちや教師の指示にしたがって調べる
		学習問題を解決し、その意味をとらえることができるか	自分で学習問題を的確に解決し、その意味をとらえることができる	友達と話し合ったり教師の支援を受けたりして学習問題を解決し、その意味をとらえることができる	学習問題を解決することができず、その意味もとらえることができない
まとめる力	追究した内容をまとめることができる	調べたことやさまざまな考えをふまえ、自分の考えを再構成することができるか	調べたり、友達と交流したりすることによって、自分の考えを新たに再構成する	調べたり、友達との交流をとおして、自分の考えに新たな考えを付け加える	調べてもわからなかったことを他の人との交流によって考えをもつ

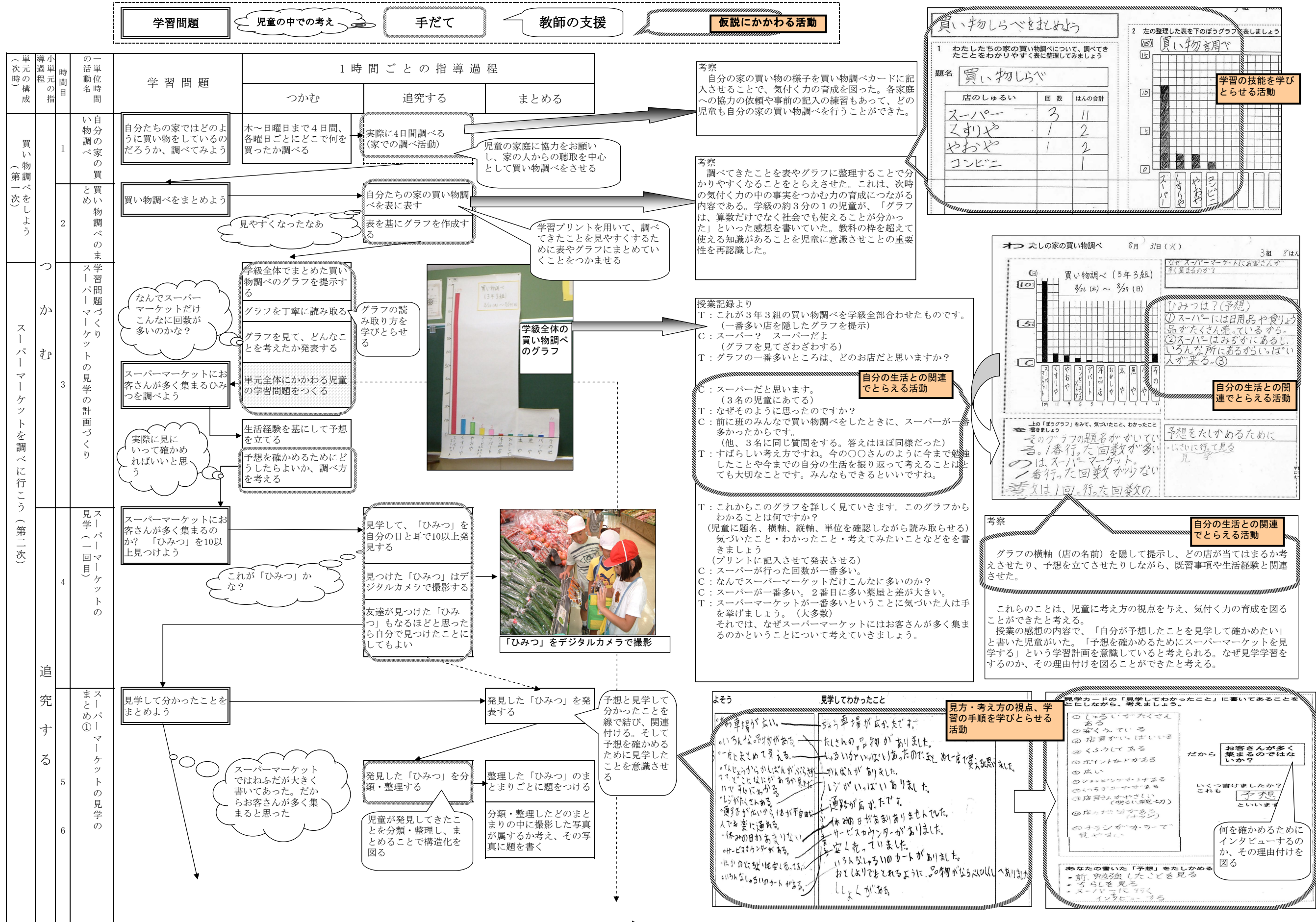
4 授業実践及び実践結果の分析と考察

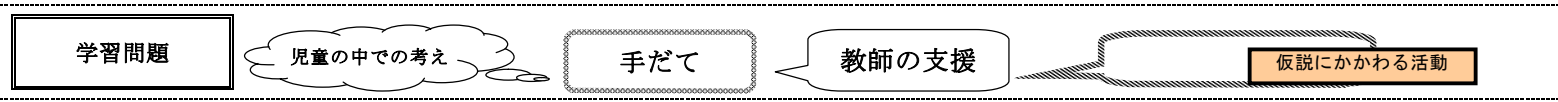
(1) 授業実践の概要及び分析と考察

授業実践は盛岡市立北松園小学校第3学年1学級32名（男子15名女子17名）を対象とし、平成16年8月23日から9月17日まで行った。

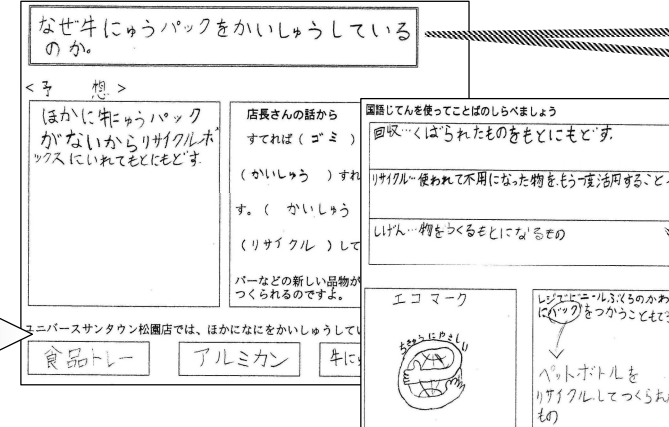
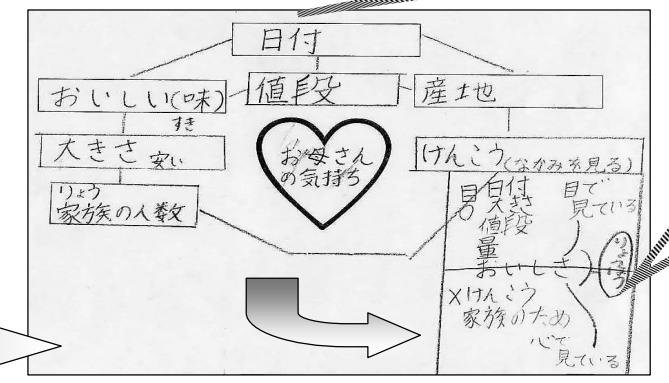
11～16頁の【資料1】は授業実践の概要及び分析と考察である。

【資料1】授業実践の概要及び分析と考察





時成単元 (次)	指導単元 の構成	時間 の単元 の活動時	学習問題	1時間ごとの指導過程		
				つかむ	追究する	まとめる
わたしたちもやってみよう(第三次)	11	上手な買い物をするために	A子のお母さんがスーパーマーケットで購入した「牛乳」「カレー」「すいか」を提示する	ゲストティーチャーに質問をして調べる際、学級全体のものにするために、意図的に指名して関連する内容の質問をさせる		
			お母さんは、品物を買うときにどんなことに気を付けているか	お母さんに質問をして話を聞き、調べる	調べたことから、共通点を見つける	
わたしたちにも	12	わたしたちにも	児童にとって、身近な牛乳パックのリサイクルについて、考えていく	スーパーマーケットの前にある回収箱を見て、気付いたことを話し合う	自分の家の様子を思い浮かべながら、分かったことをまとめる	
			なぜ牛乳パックをリサイクルしているのか	生活経験を基にして予想を立てる	自分なら、どのように買い物をするかな。家のお母さんも同じような気持ちかな。	
今まで学習したことをまとめ、紙芝居をつくらう(第四次)	13	(三回目)スーパーマーケットの見学	今まで学習したスーパーマーケットの「ひみつ」を見学して確かめよう	店長さんの話をビデオで見て、調べる	勉強して分かったこと、自分にもできそうなことを考え、まとめる	
			今まで学習した内容と目の前の具体物を結びつけることができるように、児童に質問しながらその場で確認する	国語辞典で「回収」「リサイクル」「資源」という言葉を調べる	自分にもできそうなことはないかな	
			日頃、買い物をしている店について、以前行った買い物を思い出しながら、場所、買ったもの、様子などを発表する	ペットボトルをリサイクルして作ったエコパック、牛乳パックをリサイクルして作ったトイレトーパーを見て調べる		
14	みんなが買い物に行く店	いろいろな店の工夫を調べよう	調べたことを見学メモに記入する	バックヤードでの店長さんの説明		
		それぞれの店を比較させ、他の店とも共通していることやその店の特徴などをとらえさせ、新たな考えをもたせるようにする	その場で店長に質問する時間をとる	学習して分かったことを見学カードにまとめる		
15	紙芝居づくりと発表会	これまでの学習場面を振り返る	デパート、個人の商店、コンビニエンスストア、郊外の大型店の工夫について、スーパーマーケットで学習したことを基に考え、発表する	友達の考えを聞きながら、それぞれの店の工夫についてまとめる		
16		スーパーマーケットの学習をして、分かったことを紙芝居にまとめよう	自分で表現したい場面を決定し、紙芝居をつくる	紙芝居の発表会をもち、友達の選んだ学習内容や表現の仕方について話し合う		



自分の生活との関連でとらえる活動

考察
自分の家の様子を思い出して考え、ゲストティーチャーの話を聞いて調べ、再び自分の家の様子を考えさせた。

これらの活動とおして、児童は消費者の立場で、自分でもできることに気づき、家のお母さんの思いにも触れることができた。このことから、関連付ける力の育成を図ることができた。

自分なりの考えを交流させ、新たに考えを再構成させる活動

また、「お母さんは、物を買うときにどんなことに気を付けているか」という学習問題について考えた。そして、調べているとき、それらの内容を見えるものと見えないものという視点で分けて考えた。さらに、それらを家のお母さんが「目で見ている」と「心で見ている」ものに分けることができた。

話し合いをおして、新しい考えを生み出したことで、まとめる力の育成を図ることができた。

自分の生活との関連でとらえる活動

考察
リサイクルについて学習した後の感想の中で、児童は自分でもできることを考えたり、自分の家の様子を振り返ったりしていた。

このことから、学習内容と生活経験を結びつけることができた。このことから、関連付ける力の育成を図ることができた。

見方・考え方の視点、学習の技能を学びとらせる活動

「回収」「リサイクル」「資源」といった新しく習った言葉を調べる際、国語辞典を使わせることで、国語で学んだ学習技能を生かすことができた。また、品物に描いてあるマークについて、参考資料から調べさせた。

このようにさまざまな調べ方にそって調べさせたことで関係付ける力の育成が図られたと考える。

自分なりの考えを交流させ、新たに考えを再構成させる活動

考察
「いろいろな店の工夫を調べよう」という学習問題から、自分の買い物経験を思い出して考えたり、教師の提示した資料から探したりさせた。始めに自分の考えを書かせ、次に学級で発表させた。友達の発表を聞いて、自分では気付かなかったことを見つけて、付け加えた。そして、さらにそれぞれの店で共通することや特徴を考えさせることで、新たな考えを発見させることができた。

このことから、まとめる力の育成を図ることができた。

考察

学習して分かった「スーパーマーケットのひみつ」を紙芝居にして表した。紙芝居は自分の思いを絵に描いて表すことができ、発表するとき絵を見せながら話すことができるため、児童にとって分かりやすく行いやすい発表形態である。発表する内容は、どの児童も知っているものであるため、発表している児童の思いを共有することができた。これらのことから、まとめる力の育成を図ることができた。

(2) 主体的に考える力の構成要素「気付く力」の育成状況

【表8】は、「気付く力」の育成状況について、スーパーのチラシを基にしてテストを行い、t検定で分析した結果を表したものである。この結果から、有意差が認められた。

事前テストでは気付いたことを書くことがあまりできなかった。どのようなことが「気付いたこと」となるのか、児童が分からなかったからと考えられる。事後テストでは、商品の説明に関する記述が特に増え、大半の児童は「気付いたこと」を数多く書くことができた。このことから、資料の見方・考え方をつかむ学習活動において、見方・考え方の視点を与えたり、気付いたことを数多く発表させたりしたことで、児童に気付くための視点が育ってきたと考えられる。

一方、児童の授業の様子や学習プリントの記述から、事実を正しく認識し、学習問題を設定できるかについて判断したものが【図7】である。Aの児童が64.5%、Bの児童が29.0%、Cの児童が6.5%だった。31名中(1名欠席)29名の児童がグラフを基に自分なりの学習問題を設定することができた。縦軸、横軸、単位等を一一つ丁寧に確認していくことによって、グラフの読み取り方を身に付けさせることができた。また、グラフに表して視覚に訴え、児童に疑問をもたせるように提示を工夫したことによって、学習問題をとらえさせることができた。Aの児童は、「スーパーに行った回数が一番多い」と読み取ったことから、学習問題を設定することができた。また、「買い物調べをしたとき、自分の家でもスーパーにたくさん行ってたから、全体でもやっぱり一番だった」などと生活経験にふれて感想に書いていた。Cの児童は、グラフから事実を読み取れず、学習問題を考えることができなかった。グラフのどこを見ればよいのか、また、どのようなことを書けばよいのかイメージをもてなかったためだと考える。作業の途中に他の児童の例を紹介するなどの働きかけが必要であった。

(3) 主体的に考える力の構成要素「関係付ける力」の育成状況

【表9】は、「関係付ける力」の育成状況について、スーパーマーケットの絵を見てその工夫を答えるテストを行い、t検定で分析した結果を表したものである。この結果から、有意差が認められた。

事前テストでは、「カートがある」といった単語のみの記述が多く見られたが、事後テストでは、「お客さんが買いやすくするために

【表8】「気付く力」の育成状況

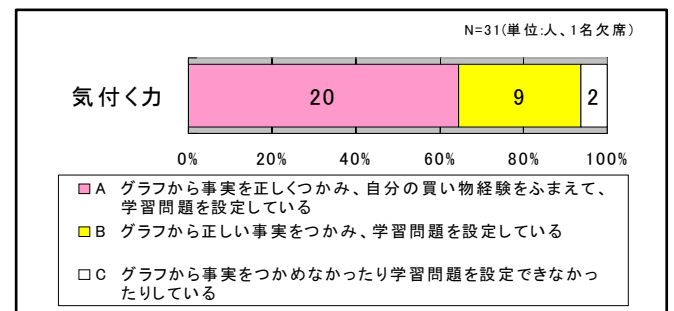
検証内容	事前テスト		事後テスト		相関係数	t値	有意差
	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差			
気付く力	4.7	2.51	9.3	4.02	0.72	9.09	*

注) 1 「気付く力」は、主題テストの設問3について20点満点の問題である
 2 事前テストは8月23日、事後テストは9月17日に実施した
 3 t検定(平均の差の検定)に用いた公式は次のとおりである

$$t = \frac{X_2 - X_1}{\sqrt{\frac{S_1^2 + S_2^2 - 2rS_1S_2}{n-1}}}$$

なお、X2とX1は、事前と事後テストの平均点、S1とS2は事前と事後テストの標準偏差、rは相関係数、nは人数を表す

4 有意差の欄の*は、t検定において有意水準5%で有意差があることを示す



【図7】グラフを基に学習問題を設定することについての状況

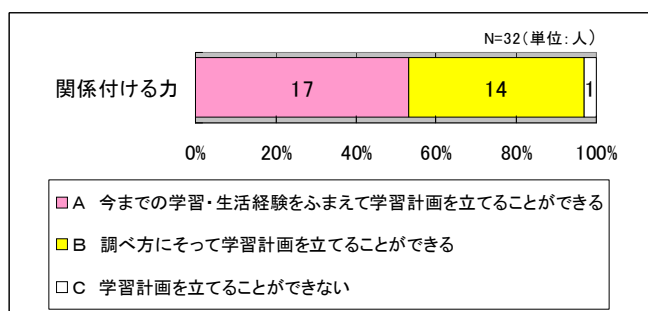
【表9】「関係付ける力」の育成状況

検証内容	事前テスト		事後テスト		相関係数	t値	有意差
	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差			
関係付ける力	4.1	2.54	8.2	2.60	0.57	9.58	*

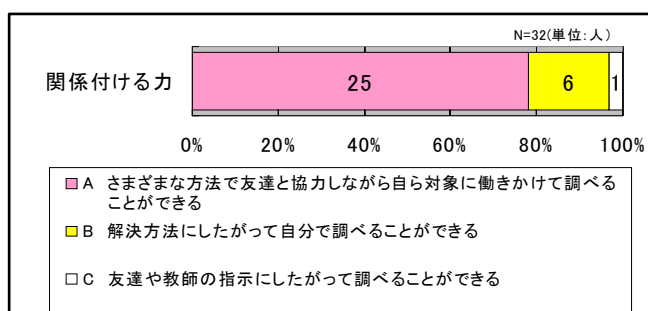
注) 1 「関係付ける力」は、主題テスト設問4について15点満点の問題である
 2~4 【表8】と同じ

ショッピングカートがある」といったように、テストの絵に描いてあることと、そこから考えられることや学習して得た知識を結び付けた記述が見られるようになった。また、「新鮮な品物がある」など、スーパーマーケットが実際に工夫している内容であり、授業で学習した内容であるが、テストの絵からだけでは言い切れないことについての記述も見られるようになった。これらのことから、スーパーマーケットを実際に見学する学習活動を行ったことで、児童の具体的な記述が多くなったと考えられる。しかも、見学する際には、まず初めに様子を見たりその場の音を聞いたりする「目と耳のみでの観察」をし、次にその活動ではどうしてもわからなかった事項について人に尋ねる「インタビュー」をするというように、調べ活動に条件を加えた。このことによって、児童に活動の目的や見学する必然性をもたせたこと等が、調べ方にそって調べ、その意味をとらえることができる力すなわち「関係付ける力」を育成することに役立ったと考えられる。

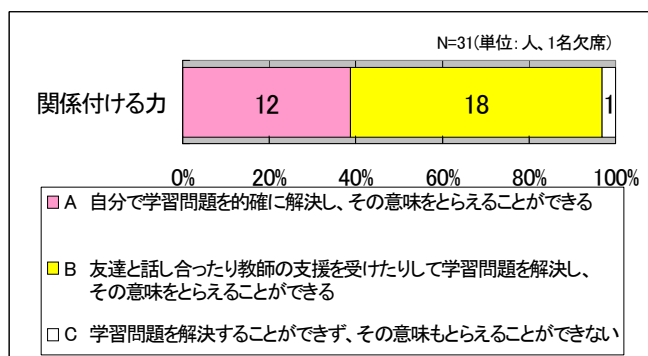
一方、児童の授業中の様子や学習プリントの記述から、学習問題を追究できるかについて、学習計画を立てる場面で判断したものが【図8】である。Aの児童が53.1%、Bの児童が43.7%、Cの児童が3.2%だった。また、学習問題を調べる場面で判断したものが【図9】である。Aの児童が78.1%、Bの児童が18.7%、Cの児童が3.2%だった。さらに、学習問題の意味をとらえる場面で判断したものが【図10】である。Aの児童が37.5%、Bの児童が59.3%、Cの児童が3.2%だった。学習計画を立てさせる際には、今までの学習・生活経験から予想を立てさせたり、調べ方を考えさせたりした。また、学習問題の解決に当たっては、見学活動やインタビュー活動等さまざまな方法で調べさせ、解決に導く資料を用意して気付かせたり、友達と話し合わせたりしながら、意味をとらえさせた。これらのことから、学習の手順を学びとらせることができたと考える。Aの児童は、「お母さんがチラシを見てスーパーに買いに行っているからお客さんも集まるのだと思う」などの生活経験を基に予想を立て、「見に行く」「お母さんに聞く」等、確かめる方法をいくつか考え、実際にスーパーマーケットに見学しに行き、お客さんにインタビューし、学習問題を解決した。そして、「確かにチラシを見て来ることもあるが、それだけではなく家から近かったり、たくさんの品物があったりするなど、さまざまな理由がある」といったように意味をとらえていた。また、その際、友達に調べ方や自分の分かったことを教える様子が見られた。Cの児童は、予想を立てられなかったり、意欲はあってもうまく調べられなかったり



【図8】学習計画を立てることについての状況



【図9】学習問題を調べることについての状況



【図10】学習問題の意味をとらえることについての状況

していた。「自分の生活を振り返ってみて、同じようなことがなかったかな」といった、生活経験と学習内容を結びつけて考えさせたり、「店長さんに聞けばこの問題の答えがわかるよ」といった、学習の進め方を分からせたりする具体的な指示が必要だったと考える。

(4) 主体的に考える力の構成要素「まとめる力」の育成状況

【表10】は、「まとめる力」の育成状況について、表からグラフを作成する問題、棒グラフの表す店を選ぶ問題、さまざまな店がある理由を考えてその特徴を答える問題のテストを行い、t検定で分析した結果を表にしたものである。この結果から、有意差が認められた。

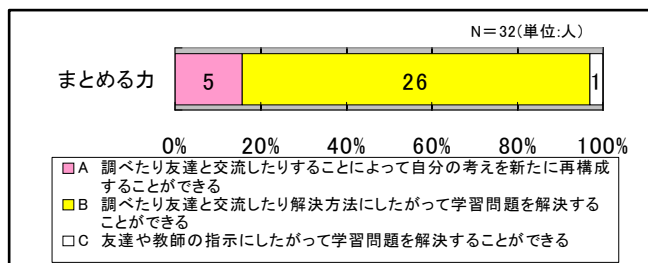
【表10】「まとめる力」の育成状況

検査内容	事前テスト		事後テスト		相関係数	t値	有意差
	平均点	標準偏差	平均点	標準偏差			
まとめる力	9.9	1.95	12.4	2.36	0.26	5.27	*

注 1 「まとめる力」は、主観テスト設問1、2について14点満点の問題である
2~4 【表8】と同じ

棒グラフの表す店を選ぶ問題で「グラフ中の一番多く行った店はスーパーマーケットである」と正答した児童は、事前テストの18名から事後テストでは30名に増えた。さまざまな店がある理由を書く問題で正答した児童は、事前テストの10名から事後テストでは29名に増えた。スーパーマーケットを中心にさまざまな店の特徴やよさについて学習したり、友達の考えを参考にしながら自分の考えを構成し直したりする学習を行ったため、児童は設問の内容と自分の考えを比較しながら、自分なりの考えを書くことができ、このことが「まとめる力」を育成することに役立ったと考えられる。

一方、児童の授業の中の様子や学習プリント・まとめの作品の記述から、追究した内容をまとめることができるかについて、自分の考えを新たに再構成する場面で判断したものが【図11】である。Aの児童が15.6%、Bの児童が81.2%、Cの児童が3.2%だった。調べたことを話し合わせる際には、生活経験や学習内容を基に自分なりの考えをもてるように助言した。また、自分の考えと友達の考えを比較しながら話を聞くことができるように学習プリントの構成を工夫した。これらのことが自分と友達それぞれの考えの良さに気付かせ、友達の考えを取り入れることや自分の考えを再構成することにつながったと考える。Aの児童は、見学活動やインタビュー活動等さまざまな方法で調べ、「よりよいものをより安く」の「よいもの」の意味を「新鮮でおいしいもの」と自分なりの考えをもった。そして友達との話し合いをとおして、「安全なもの」も含まれると気づき、それらがすべて「スーパーマーケットの秘密」の一つであり、「お客さんが買いやすくするための工夫や努力」であるといった内容をまとめて書いていた。このことは、自分の考えを再構成して新たな考えを作り出していたものと考えられる。Cの児童は自分なりの考えをもつことができないこともあり、教師や友達の助言を基にして考えていた。自分の考えを新たに再構成するためには、児童が話し合う時間と回数を保障することや話し合いの仕方を身に付けさせることが必要であると考えられる。



【図11】 追究した内容をまとめることができることについての状況

5 小学校社会科における主体的に考える力を高める学習指導に関する研究のまとめ

小学校社会科における主体的に考える力を高める学習指導について成果と課題を以下に示す。

(1) 成果

ア 調べたことをグラフに表現させたり、グラフの項目を確認しながら読み取らせたり、学習問題や予想・確かめ方を考えさせたりすることで、社会的事象を見るとき視点、学習の手順、技能を学びとらせることができた。これらのことから、気付く力を育成することができたと考える。

イ 生活経験を基に考えさせるよう助言したり、社会科で学習した内容をその後の生活で生かす教材を提示したりしたことで、社会的事象を自分自身や自分の生活との関連でとらえさせることができた。これらのことから、関係付ける力を育成することができたと考える。

ウ インタビューをして分かったことを学級で話し合っまとめたり、さまざまな店の工夫について話し合う中で自分が思いつかなかった考えを友達の発言から見つけたりするなど、考えを交流させることで、新たな考えに再構成させることができた。これらのことから、まとめる力を育成することができたと考える。

エ 手だてを全体的にみた場合、社会的事象と「かかわり」をもたせる体験的な活動を組み込んだ学習活動を行ったことにより、社会的事象に出会ったときから「これは何だろう」「前にも似たようなことがあったね」といった具合に追究する姿が見られるようになった。このように児童の反応に大きな変化が見られたことから、考える力を育成することができたと考える。

オ 児童に問題解決的な学習の仕方が定着していくにつれて、「ぼくはこう思った」「この活動をすれば、この問題の答えがわかると思う」という考えが授業中に見られるようになった。このように、児童が追究する活動に進んで取り組む姿が見られたことから、主体的な態度を育成することができたと考える。

(2) 課題

ア 体験的な活動を行う際の時間的な保障の工夫をすること

イ 自分なりの考えをもって交流活動に臨むことやその際の話し合いの進め方等の技能を育てること

以上のことから、課題もあるが、小学校社会科学習において、主体的に考える力を高めるために、社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動を組み入れることは、有効であることが確かめられた。この実践をとおして児童は、追究する活動に進んで取り組むように変化してきている。社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動を組み入れた指導を体系立てて続けていけば、主体的に考える力がさらに高まっていくものと考えられる。

V 研究のまとめ

1 研究のまとめ

この研究は、小学校社会科学習において、社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動を組み入れることによって、主体的に考える力を高める学習指導の進め方を明らかにし、小学校社会科の指導の充実と向上に役立てようとしたものである。その結果、仮説が妥当であることが確かめられた。なお、成果として次のことを得ることができた。

- (1) 小学校社会科における主体的に考える力を高める学習指導に関する基本構想の立案
先行研究や文献を基に、主体的に考える力を高めるためには、小学校社会科学習において、社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動を重点的に取り上げ、効果的に組み入れることが必要であるという考えに基づいて、基本構想を立案することができた。
- (2) 手だてにかかわる実態調査及び調査結果の分析と考察
社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動を組み入れるに当たって、社会科の学習に対する児童の経験の実態を把握するために、実態調査を行った。その結果、「生活経験と学習内容を結びつけて考えたり発言したりしたことがない」ことや「活動を通して分かって楽しかったと思ったことがない」ことが明らかになり、手だての試案作成上の配慮事項にまとめることができた。
- (3) 社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動を組み入れた学習指導についての手だての試案の作成
基本構想と実態調査から明らかになった社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動を組み入れる際の配慮事項を基にして、小学校社会科学習において、主体的に考える力を高めるための手だての試案を作成することができた。
- (4) 授業実践及び実践結果の分析と考察
単元「わたしたちのくらしと店の人のしごと」の授業において、児童の主体的に考える力を高める実践を行うことができた。そして、検証計画に基づいた実践結果の分析と考察により、買い物調べの活動やスーパーマーケットの見学活動等の、社会的事象への「かかわり」をもたせる体験的な活動を組み入れていくことが、児童の主体的に考える力を高める上で有効であることが確かめられた。
- (5) 小学校社会科における主体的に考える力を高める学習指導に関する研究のまとめ
児童の主体的に考える力を高める学習指導について、成果と課題を明らかにすることができた。

2 今後の課題

今回は小学校第3学年が対象であったので、「かかわり」をもたせる体験的な活動は、社会的事象に対する見方・考え方等の視点、学習の手順や技能を学ぶ活動に重点をおいた。今後は、小学校4年間の社会科学習の中に、「かかわり」をもたせる体験的な活動をどのように組み入れていけばよいのか、その在り方をまとめていきたい。

<おわりに>

長期研修の機会を与えてくださいました関係諸機関の各位並びに所属校の諸先生方と児童のみなさんに心から感謝を申し上げ、結びの言葉といたします。

【参考文献】

- 有田和正著（1994），『「考える子ども」を育てる社会科の学習技能』，明治図書
北尾倫彦編集（1995），『小学校 思考力・判断力—その考え方と指導と評価—』，図書文化社
北俊夫著（1999），『新しい知識観に立つ授業の改革』，明治図書
森分孝治 片山宗二編集（2000），『社会科 重要用語300の基礎知識』，明治図書
文部省（1993），『小学校社会指導資料 新しい学力観に立つ社会科の学習指導の創造』，東洋館出版

補充資料

【補充資料 1】

社会の勉強についてのアンケート・・・・・・・・・・・・・・・・・・資 1

【補充資料 2】

保護者への社会科学習に関わる「買い物調べ」についてのお願い・・・・・・・・資 2

【補充資料 3-①】 【補助資料 3-②】

事前事後テスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資 3

【補充資料 4】

買い物調べカード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資 5

【補充資料 5】

「わたしたちの暮らしと店の人のしごと」の単元構想・・・・・・・・資 6

【補充資料 6-①】～【補助資料 6-⑫】

「わたしたちの暮らしと店の人のしごと」指導展開略案

- ①わたしの家の買い物調べの計画・・・・・・・・・・・・・・・・資 7
- ②買い物調べのまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・資 8
- ③スーパーマーケットの見学の計画・・・・・・・・・・・・・・・・資 9
- ④スーパーマーケットの見学・・・・・・・・・・・・・・・・資 10
- ⑤スーパーマーケットの見学のまとめ・・・・・・・・・・・・・・・・資 11
- ⑥スーパーマーケットで働く人やお客さんへのインタビューとそのまとめ・・・・・・・・資 12
- ⑦スーパーマーケットの品物の産地調べ・・・・・・・・・・・・・・・・資 13
- ⑧上手な買い物をするために・・・・・・・・・・・・・・・・資 14
- ⑨わたしたちにできること・・・・・・・・・・・・・・・・資 15
- ⑩スーパーマーケットの見学・・・・・・・・・・・・・・・・資 16
- ⑪みんなが買い物に行く店・・・・・・・・・・・・・・・・資 17
- ⑫紙芝居づくりと発表会・・・・・・・・・・・・・・・・資 18

【補充資料 7-①】～【補充資料 7-⑨】

学習に使用したプリント

- ①わたしの家の買い物調べ（調べてきたことから表やグラフを作成する）・・・・・・・・資 19
- ②わたしの家の買い物調べ（学習問題をつくる）・・・・・・・・資 19
- ③スーパーマーケットのひみつ（見学のまとめ）・・・・・・・・資 20
- ④スーパーマーケットのひみつ（見学のまとめとインタビューの計画）・・・・・・・・資 20
- ⑤スーパーマーケットのひみつ（インタビューして分かったことのまとめ）・・・・・・・・資 21
- ⑥スーパーマーケットのひみつ（品物の産地調べ）・・・・・・・・資 21
- ⑦わたしたちもやってみよう（上手な買い物をするために）・・・・・・・・資 22
- ⑧わたしたちもやってみよう（リサイクル）・・・・・・・・資 22
- ⑨みんなが買い物に行く店（それぞれの店の良さの比較）・・・・・・・・資 23

【補充資料1】

社会科の勉強についてのアンケート

社会科の勉強についてのアンケート

平成16年7月20日（火）
盛岡市立北松園小学校

名前

このアンケートは、これからのみなさんの社会の勉強に役立てるためにするものです。テストではありませんので、自分の思ったとおりに書いてください。

1 あなたは、社会の勉強で、みんなの前ですんではつびょうしようしていますか。つぎのA～Eのうち、自分にいちばん近いものをえらんで○をつけてください。

- A している
- I どちらかかというとしている
- U どちらかかというとしていない
- E していない

2 1でUとEに○をつけた人だけ答えてください。あなたが、みんなの前ですんではつびょうできないわけをつぎのA～オからえらんで○をつけてください。あてはまるものにいくつ○をつけてもかまいません。

- A 自分の考えを話すのがにがてから
- I 自分の考えにじしんがないから
- U みんなが自分の話を聞いてくれないから
- E はずかしいから
- オ そのた

3 あなたは、社会の勉強中に、今までの自分の生活の中でやったことや見たこと聞いたこと、勉強してわかったこと、などを思いうかべて考えることがありますか。つぎのA～Eのうち、自分にいちばん近いものをえらんで○をつけてください。

- A よくある
- I ときどきある
- U あまりない
- E ない

4 3でAとIに○をつけた人だけ答えてください。あなたは、どんなことを思いうかべて考えていますか。思い出して書いてください。

5 1学期の社会の勉強の中で、楽しかったのはどんなことをしたときでしたか。その活動を思い出して書いてください。

【補充資料2】

保護者への社会科学習に関わる「買い物調べ」についてお願い

《買い物調べについて》

1 買い物調べ期間 8月26日(木)、27日(金)、28日(土)、29日(日)

2 買い物対象品 直接、店を訪問し、品物を購入し、持参した物とします。

3 記入の品物 ◆食卓などでの食事、通信販売、出荷品、ガソリン等は除きます
「お子様に知らせてよい物」とします。

4 買い物をした店 次のように分類してください。

スーパーマーケット コンビニエンスストア デパート 洋品店
肉や魚ややおや 又はお買屋 くすり屋 カメラ屋 おかし屋
パンや 米や その他

5 買い物場所(地区) 松園 緑が丘 盛岡駅前 大通り 肴町 その他
に分類します。

6 記入者 お子様ご家族から聞いて、「わたしの家の買い物調べ」に記入
します。

わたしの家の買い物調べ(記入例)

わたしの家の買い物調べ

3日町風 松園 太郎

お店	場所	品物
ズーパース(ユニバース)	A	食料品
デパート(カワトリ)	D	着るもの
魚や	B	食料品
ズーパース(イオン)	F	日用品

8月28日(土)

知づいたこと・考えたこと
休みなので、いろいろな
お店に行、たのめな
思いました。

平成16年8月23日
北松園小学校 3年3組担任
保護者の皆様
盛岡市立北松園小学校
3年3組担任

社会科学習に関わる「買い物調べ」について(お願い)

2学期が始まり、一回り成長した元気な子ども姿が、教室にもどってきました。
ご家庭の皆様には、お健やかにお過ごしのことと存じます。今学期も何かとご支援いた
だきますようお願い申し上げます。

さて、2学期の社会科学習は「販売の仕事の工夫(14時間)」から始まります。
販売に携わっている人々の仕事の特徴(商品の品質管理・売り場での並べ方・直伝の工夫
等)と、その人々のサービスマンによって毎日の消費生活が支障なくできることを学習します。

その学習の始めとして「自分の家の買い物調べ」をします。家庭での買い物の様子を調べ
ることにより、「わたしの家では」「毎日のように」「さまざまなお店から」「いろいろな
品物」を購入して、毎日の生活を成り立たせていることに気づかせ、「販売の仕事の特
色」への関心を高めていこうと計画しています。

この単元の指導は、現在、岩手県立総合教育センターで研修している本校教諭佐瀬智洋
が担当し、「子どもが主体的に考える指導の在り方」として来年2月に実践発表する予定
になっています。

つきましては、右記の方法によりご家庭の買い物の様子をお子様にお話しいただき、ご
調査用紙「わたしの家の買い物調べ」にお子様自身に記入させていただきますよう、ご
探助のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、できましたら、お子さんと一緒に買い物に出掛けられ、普段の買い物の様子を
体験させていただければ、より学習が深まるものと考えます。

また、この買い物調べには、プライバシーに関わる面がありますが、この調査は学習活
動の一環であり、印刷して外部に出したり、家庭同士を比較したりしてご迷惑をおかけ
するようなことはいたしませんので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

8月30日(月)の学習に《わたしの家の買い物調べ》で使いますので持たせてください。

社会科テスト

3年組名前

名前

- 1 左下の表は、あるクラスの家の人々がどの店に何人買い物に行っただかをしらべたものです。これについてつぎの(1)、(2)の問題に答えなさい。
- (1) 左下の表をグラフにあらわしなさい。

店	買い物に行った人数(人)
ア	30
イ	15
ウ	10
エ	5
オ	1
人数	店
30	ア
25	
20	
15	
10	
5	
0	
	ア
	イ
	ウ
	エ
	オ

- (2) 上の表のア、イ、ウ、エ、オは、次の5つの中のどれかのお店を表しています。

くすりやさん スーパーマーケット 魚屋さん
 コンビニエンスストア デパート

つぎの()に、上の.....の中からお店の名前をえらんで書きなさい。
 また、.....の中に、あなたの考えを書きなさい。

① いちばん買い物に行った人が多い店「ア」は() だと思います。
 そのわけは

② いちばん買い物に行った人が少ない店「オ」は() だと思います。
 そのわけは

- 2 あるクラスで、コンビニエンスストア、魚や、デパートなど、さまざまなお店があるのはなぜかについて考えることになりました。

これについてつぎの(1)、(2)の問題に答えなさい。

(1) 3人がお店のようすについて話しています。それぞれのふきだしにあてはまることばを下の.....の中のア～カからひとつずつえらんで、その記号を書きなさい。

コンビニエンスストアは 	魚やさんは 	デパートは
-----------------	-----------	-----------

ア お店の人と話をしながら必要なりよりだけ買うことができるよ
 イ 1日中、いつでも店があいているよ
 ウ 品物は、すべてガラスケースの中に入っているよ
 エ 品物の種類が多くて、なんでもおいているよ
 オ 外国からのめずらしい品物を中心においているよ
 カ どんな品物もねたんをとてもやすく売っているよ

- (2) コンビニエンスストア、魚や、デパートなど、さまざまなお店があるのはなぜだと思いますか。(1)の3人の話も参考にしながら、あなたが考えたわけを書きなさい。

- 3 つぎの.....の中からスーパーマーケットとかんげいあると思う言葉すべてをえらび、その番号を○でかこみなさい。

- ① 会長さん ② ちゅうしゃ場 ③ やきにくや ④ 店長さん ⑤ ゆっくりおもしろく
- ⑥ しいれ ⑦ やすくてしんせん ⑧ あそび場 ⑨ はいたつ ⑩ デパート
- ⑪ ねふだ ⑫ レジ ⑬ 高くておいしい ⑭ パックづめ ⑮ 工場 ⑯ セルフサービス
- ⑰ 早くせいかくに ⑱ お子さまサービス ⑲ ちらし ⑳ 商店がい

わたしの家の買い物調べ

3年組

◎お家の人たちの買い物のようすを調べましょう。

どんなお店で、どんな品物を買ったか、お家の人に聞いたり買い物のようにすすを見たりしながら調べましょう。

お店の種類
 ・スーパーマーケット
 ・コンビニエンスストア
 ・デパート
 ・やおみやげ屋
 ・くすりや
 ・おかしや
 ・米や

魚や肉や洋品店具や文房具やカバンやその他

買い物場所 (A B C D E F)
 A 松園地区 (まつぎん) 地区
 B 緑が丘 (きよがかみ) 地区
 C 盛岡駅前 (もりおかえきまえ) 地区
 D 大通り地区 (おほり) 地区
 E 肴町 (さかなまち) 地区
 F その他

品物の種類
 ・食器 (たべもの) やのり
 ・日用品 (じふぶつ) やせんざいなど
 ・本や雑誌
 ・文房具 (ぶんぱうぐ) やえんぴつ、けしごむ
 ・着るもの (きもの) やふくやくつ
 ・その他

8月26日(木)			8月27日(金)			8月28日(土)			8月29日(日)		
お 店	場 所	品 物	お 店	場 所	品 物	お 店	場 所	品 物	お 店	場 所	品 物
例 スーパー (スーパー)	A	食りよう品									
気づいたこと・考えたこと			気づいたこと・考えたこと			気づいたこと・考えたこと			気づいたこと・考えたこと		

【補充資料5】

「わたしたちの暮らしと店の人のしごと」の単元構想

1 単元名

わたしたちの暮らしと店の人のしごと	17時間扱い
-------------------	--------

2 目標

- 自分たちの地域の消費生活に関心を持ち、日常生活に必要な商品の購入や販売の仕事の工夫について意欲的に調べたり、学習したことを自分の生活に進んで生かそうとしたりする。
- 日常生活に必要な商品の売買にかかわっている販売者と消費者それぞれの工夫や努力、及び消費生活を通じた自分たちの生活と地域とのかかわりについて考えることができる。
- 自分たちの地域で行われている消費生活の工夫や特色について観察、調査し、各種の具体的な資料を効果的に活用して調べ、調べたことを表やグラフ、地図などに工夫して表現できるようにする。
- 自分たちの地域で行われている消費生活の工夫や特色を販売者、消費者の立場から理解するとともに、自分たちの地域が消費生活を通じて広く他地域や外国と結びついていることに気づくことができる。

3 単元の主題

地域の人々の買い物の工夫と地域の商店の販売に見られる仕事の特色および消費活動を通じた他地域との結びつき

4 単元の構成



【補充資料 6-①】

①わたしの家の買い物調べの計画（第1時／全17時間）

1 ねらい

自分たちの家の買い物の様子を発表し合い、買い物調べの方法がわかり、自分の家の買い物を調べようとする意欲を持つことができるようにする。

2 展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点 (◎仮説にかかわる手だて)	資 料
つ か む	<p>1 自分たちの家ではどこで買い物をしているか発表し合う</p> <p>(1) 買っている物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食料品 ・衣料品 など <p>(2) 買っている店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケット ・デパート ・小売店 など <p>(3) 買っている店の場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近所（学区） ・盛岡 ・県外 など <p>(4) 買っている日時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日 ・土日 ・夕方 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物体験や自分の家の買い物の様子を発表させ、それを板書によって整理する 「いつ、どこで、何を、どのくらい」 ・自分たちの家では、生活を成り立たせるために、毎日のようにいろいろな店でさまざまな買い物をしていることに気づかせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真 小売店 スーパーマーケット デパート
追 究 す る	<p>2 買い物調べの方法について確かめる</p> <p>(1) 買い物調べカードによる買い物調査の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べる期間 ・買い物に行った店 ・買ったもの ・気づいたこと <p>(2) 記入の仕方を練習する</p>	<p>◎自分の家の買い物の実態を調べるための「買い物調べカード」への記入の仕方についてわからせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「買い物調べ」の買った物や店の分類の仕方について家庭へ連絡し、協力を得るようにする ・調べる期間は、8月26日（木）～29日（日）までとし、自分の家の買い物を家の人から聴取し、カードに記入することを確認する ・調査や記入をスムーズにさせるために買い物事例を提示し、買い物カードに記入させ、練習させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物調べカード 練習用 記入用 ・保護者への依頼状
ま と め る	<p>3 学習を振り返り、まとめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り、学習プリントに記述させる 	

【補充資料6-②】

②買い物調べのまとめ（第2時／全17時間）

1 ねらい

自分の家の買い物調べの様子を、買い物に行った店や回数を表やグラフにまとめ、気づいたことを調べようとする意欲を持つことができるようにする。

2 展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点 (◎仮説にかかわる手だて)	資 料
つかむ	1 調べてきたことを発表し、学習問題をつかむ 買い物調べをまとめよう	<ul style="list-style-type: none"> ・数名の子供に、それぞれの家での買い物調べを通して気づいたことを発表させ、買い物調べのまとめへ発展させる ・児童の記述してきたカードの気づきの内容などを把握して、意図的に指名する 	
追究	2 買い物調べをまとめる (1) 表の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の家の買い物 ・班の人の買い物 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物調べまとめ表の記入の仕方を例示する ◎整理してるわかりやすくために買い物調べまとめ表に記入させる ・はじめに自分の家の回数を記入させ、次に班員それぞれの家の回数を集計させて記入させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物調べまとめ表（数表） わたしの家 わたしたちの班
すすめる	3 班の買い物の様子をグラフにまとめ、気づいたことを話し合う (1) グラフの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・表題 ・縦軸 ・横軸 ・単位 ・順序 (2)気づいたことを発表する	<ul style="list-style-type: none"> ・表にまとめたものをさらに見やすくするためにグラフに表すことに気づかせ、その作り方を例示する ◎買い物調べまとめ表からグラフを作成する ・グラフにすることによって、データが見やすくなることをわからせる ・気づいたことを自由に発表させながら、スーパーマーケットが多いわけを確認しようとする気持ちをもたせ、次時につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物調べまとめ表 班の買い物グラフ
まとめる	4 本時を振り返り、まとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り、学習プリントに記述させる 	

【補充資料6-③】

③スーパーマーケットの見学の計画（第3時／17時間）

1 ねらい

スーパーマーケットに買い物客が多く集まる秘密を予想し、実際に調べるための計画を立て、店
の見学の見通しを持つことができるようにする。

2 展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点 (◎仮説にかかわる手だて)	資 料
つかむ	<p>1 学級の買い物グラフを見て、学習問題をつかむ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>スーパーマーケットにお客さんが多く集まるひみつを調べよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・班ごとの買い物の様子を学級全体でまとめた教師作成グラフを提示し、丁寧に読み取らせる ◎最も多く利用しているスーパーマーケットを学習対象とし、学習問題を決めさせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物調べのグラフ（クラス全体）
追究する	<p>2 スーパーマーケットに買い物客が多く集まる「ひみつ」を予想する ＜予想される事項＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品物の数、種類が多い ・値段が安い ・一度に買いやすい ・駐車場が広い ・近い など <p>3 スーパーマーケットの秘密を調べる計画を立てる</p> <p>(1) 調べること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットにお客さんが多く集まるひみつ <p>(2) 調べ方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の目と耳で「ひみつ」を10以上見つける <p>(3) 見学の仕方について確かめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持ち物、班活動 ・見学のマナー ・歩き方 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活経験や家の人の話を踏まえながら、予想させる ◎予想したことを確かめるためにどうすればよいか考えさせ、スーパーマーケットを見学することを確認し合う。 ・「ひみつ」を見つける見学でありはじめてのスーパーマーケットの見学であるので、見学の視点は一つとする ・自分で見つけた「ひみつ」をデジタルカメラで写したり、カードに書いたりする ・スーパーマーケットの方々やお客さんに迷惑をかけないこと、商品に手をつけないことなど十分意識させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケット見学カード ・デジタルカメラ（班で1台）
まとめる	<p>4 本時を振り返り、まとめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り、学習プリントに記述させる 	

【補充資料6-④】

④スーパーマーケットの見学（第4時／全17時間）

1 ねらい

スーパーマーケットの見学の約束や見学のめあてを確認し、予想を確かめるために、スーパーマーケットにお客さんが多い「ひみつ」を自分で10以上見つけ、見学カードに整理することができる。

2 展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点 (◎仮説にかかわる手だて)	資料
つかむ	<p>1 スーパーマーケットの見学の約束や見学のめあてを確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>スーパーマーケットにお客さんが多い「ひみつ」を10以上見つけよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「お客さんがスーパーマーケットに多く来るひみつを自分の目と耳で発見する」という前時の確認事項を想起させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学カード
追究する	<p>2 店長さんに挨拶し、ひみつを見つけ、見学カードに書く</p> <p>(1) 自分でひみつを見つけたこと</p> <p>(2) 見学カードへの記入</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の見学は、あくまでも自分の目と耳で「ひみつ」を見つけることにあるので、インタビューをしたり、店員に相談したりしないことを確認する ・見学時間は、20分とする ◎店内をくまなく見て回り、「ひみつ」を10以上見つけることとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学カード ・デジタルカメラ ・筆記用具
まとめる	<p>3 見学して見つけたことを見学カードに整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学のまとめ ・疑問に思ったこと 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学前の予想と比べさせながらまとめさせる ・見学をして新たにわかったことや疑問に思ったことを見学カードに記入させ、見学を通して自分がどのように変わったかを意識させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学カード

【補充資料6-⑤】

⑤スーパーマーケットの見学のまとめ（第5、6、7時／全17時間）

1 ねらい

見学を通してスーパーマーケットにお客が集まる「ひみつ」についてまとめ、それを確かめるためにインタビューの計画を立てることができる。

2 展開（1／3）

段階	学習内容・活動	指導上の留意点 （◎仮説にかかわる手だて）	資 料
つかむ 追究する	<p>1 スーパーマーケットを見学し、発見した「ひみつ」について発表し合う</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">見学して、わかったことをまとめよう</div> <p>(1)品数（多種多様） (2)表示（値札、商品の説明、看板等） ・宣伝（ちらし、のぼり、音楽） ・陳列（品物の並べ方の様子等） ・値段（やすい） ・施設・設備（レジ、駐車場等） ・サービス（ポイントカード等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・児童を意図的に指名し、発見してきたことを発表させる。 ・発表のあと、その発見が自分の発見と似ているかどうか確かめさせ、挙手によって確認する。 ◎発表されたことは、カード(板書)により整理し、児童の具体的な発見をまとめていくことで、「ひみつ」を構造化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真 スーパーマーケットの様子

展開（2、3／2）

段階	学習内容・活動	指導上の留意点 （◎仮説にかかわる手だて）	資 料
追究する	<p>1 見学カードを基に自分の考えをまとめる</p> <p>2 自分の考えを確認する方法について話し合い、インタビューの計画を立てる</p> <p>スーパーマーケットのひみつをインタビューして調べてみよう</p> <p>(1) インタビューによって、自分の予想を確かめることを確認する (2) インタビューの計画を立てる ① インタビューする人を決める ・働いている人（店長） ・買いに来た人（老若男女） ② 質問の内容を考える (3) インタビューの練習をする (4) 注意事項を確認する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えから、「お客さんが多く集まるのではないか」という予想（仮説）を立てさせる。 ・「スーパーマーケットでは〇〇だった。だから、客が多く集まるのではないかと思った」という言い方で発表させる ◎これまでの見学学習で自分たちが考えたことの妥当性を検証するためには、インタビューが必要であることに気づかせ、その方法について考えさせる ・インタビューは、さまざまな場所で働く人、さまざまな来客を考えて行い、調べることに気づかせる ・インタビューしたことを見学カードを書く方法を確認し、見学カードに記入させる ・インタビューに備えて、あらかじめ練習させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケット見学カード（その2）
まとめる	<p>3 振り返り、まとめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返り、学習ノートに記入させる 	

【補充資料6-⑥】

⑥スーパーマーケットで働く人やお客さんへのインタビューとそのまとめ

(第8、9時/全17時間)

1 ねらい

スーパーマーケットで働いている人やお客へのインタビューを通して、スーパーマーケットの工夫や努力、店の様々な設備についてとらえ、「ひみつ」についてまとめることができるようにする。

2 展開 (1/2)

段階	学習内容・活動	指導上の留意点 (◎仮説にかかわる手だて)	資料
つかむ	1 スーパーマーケットでのインタビューのめあてを確認する 自分たちが考えた「ひみつ」をインタビューしてたしかめよう	<ul style="list-style-type: none"> 「お客さんがスーパーマーケットに多く来るひみつを働いている人やお客さんにインタビューして調べる」ことを確認する 注意事項を確認する 	<ul style="list-style-type: none"> 見学カード②
追究する	2 インタビューする (1)スーパーマーケットで働く人 ・店長さん ・品物を並べる人 ・レジの仕事をする人 ・サービスカウンターの人など (2)来客 ・お母さん ・おじいさん、おばあさんなど	<p>◎自分たちの予想を確かめるために、学びの方法に従ってインタビューさせる</p> <ul style="list-style-type: none"> 恥ずかしがらず、積極的にインタビューさせる 働いている人の仕事や買い物客の邪魔にならないように気をつけさせる インタビュー前後の挨拶をを忘れないようにさせる 店長には、子供たちのインタビューの趣旨やその観点を伝えておき、それに沿って説明していただく 	
まとめる	3 インタビューしてわかったことをまとめる	<ul style="list-style-type: none"> インタビューしてわかったことを見学カードに記入する 	

展開 (2/2)

段階	学習内容・活動	指導上の留意点 (◎仮説にかかわる手だて)	資料
追究する	1 スーパーマーケットにお客さんが多く集まる「ひみつ」をまとめる (1)インタビューしてわかった「ひみつ」をまとめる インタビューしてわかったことをまとめよう <ul style="list-style-type: none"> 働いている人の話からわかったこと お客さんの話からわかったこと 店長さんの話からわかったこと (2)スーパーマーケットの都合で聞けなかった店員のインタビュービデオをみる (3)自分たちが考えた「ひみつ」を確かめる 2 スーパーマーケットの「ひみつ」についてまとめるために話し合う「よりよいもの」 ・新鮮、おいしい、ほしい、安全	<ul style="list-style-type: none"> 見学前の自分たちの予想を確認する ◎働いている人、お客さん、店長さんにインタビューしてわかった「ひみつ」を一人一人カードに記入して、それを黒板に貼り、整理する。 自分の書いたカードを発表し、それが以前に分類した工夫のどこに当てはまるか全体で確認する。 インタビューによって視野が広がったことに気づかせる 販売の仕事をしている人たちは、お客さんに気持ちよく効率よく購入してもらうための工夫をしていることに気づかせる <p>◎スーパーマーケットにお客さんが多く集まるひみつは、お客さんが買いやすくするための店側の工夫であり努力であることをまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> 「よりよいものをより安く」の「よい」の中身について今までのインタビューを参考にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> スーパーマーケットの工夫についてまとめた模造紙 インタビューしてわかったこと書くカード 働いている人のビデオ
まとめる	3 本時の学習を振り返り、まとめる	<ul style="list-style-type: none"> インタビューし、その後の話し合いでわかったことを学習プリントに記入させる 	

【補充資料6-⑦】

⑦スーパーマーケットの品物の産地調べ (第10時/全17時間)

1 ねらい

スーパーマーケットの品物の値札や段ボール箱などから産地を調べ、それらの品物は広く国内外にわたることや、多くの人の手を経て届けられ、人々の生活が成り立っていることに気づくことができる。

2 展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点 (◎仮説にかかわる手だて)	資料
つかむ	<p>1 スーパーマーケットにたくさんある品物はどこから来たか話し合い、学習問題をつかむ</p> <p>(1)並べられている品物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜 ・果物 ・魚 ・肉など <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>スーパーマーケットに売られている品物はどこから来るのだろう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・産地という言葉を教え、国語辞典で調べる。 ◎実物を示し、スーパーマーケットの品物のすべてにはラベルがはられていることに気づかせ、それをもとに調べていくことにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物 野菜 (岩手県産) 果物 (佐賀県) 魚 (アメリカ) 肉 (オーストラリア)
追究する	<p>2 値札から産地を調べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県産 ・県外産 ・外国産 <p>3 生産地を地図で調べる</p> <p>(1) 他県から</p> <p>(2) 外国から</p> <p>4 どのように送られてくるのか調べる</p> <p>(1) 産地からのトラック輸送</p> <p>(2) 飛行機、船による輸送</p> <p>5 店長さんの話からまとめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◎野菜、果物、魚、肉の実物から産地を調べ、学習プリントに記入させる ・ラベルには、商品の品質管理にかかわる一切が盛り込まれていることに気づかせる。 ・児童の生まれたところを話題にしながら、地図で産地を確かめる。県や外国の国の位置はまだ未習事項であるため、深入りしない ・産地からスーパーマーケットまでの輸送方法をビデオなどでわからせる ・約束の時間までに店に届けられるシステムになっていることを説明する ・多くの人の様々な手段によって品物が届けられ、自分たちの消費生活はそれらの人たちの働きによって成り立っていることに気づかせる 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物に貼られているラベル ・日本地図 ・世界地図 ・写真 トラック輸送の様子 ・ビデオ 店長さんの話
まとめる	<p>5 本時を振り返り、まとめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り、わかったことを学習ノートに記入させる 	

【補充資料6-⑧】

⑧上手な買い物をするために（第11時／全17時間）

1 ねらい

スーパーマーケットでのお母さんの買い物を通して、買い物をするときに心掛けなければならないことがわかり、買い物の仕方に対する意識を高めることができるようにする。

2 展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点 (◎仮説にかかわる手だて)	資料
つかむ	<p>1 A子さんのお母さんがスーパーマーケットで買った品物について話し合い、学習問題をつかむ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>お母さんは、品物を買うときにどんなことに気をつけているか</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ A子さんのお母さんがスーパーマーケットから購入した品物を提示し、品物を確認しながら児童に自由に話させる ・ A子さんのお母さんに登場してもらい、「なぜこの品物を購入したのでしょうか」と問題提示してもらう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ A子さんのお母さんがスーパーマーケットで買った品物 ・ A子さんのお母さん
追究する	<p>2 A子さんのお母さんがスーパーマーケットで品物を買うときに気をつけていることを考える</p> <p>(1) 考えていることを予想し、話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 品物の値段 ・ 新鮮さ ・ 家族の人数と好き嫌いなど <p>(2) A子さんのお母さんの考えを聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族構成 ・ 健康 ・ 嗜好 ・ 安全性など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の生活経験を基にA子さんのお母さんの考えを予想させ、それを板書によって整理する ・ どの子供にも予想をもたせ、立場や考えを明らかにさせる <p>◎ A子さんのお母さんの話を聞きながら、家族の構成、健康、嗜好、家事などを考えながら買い物をしていることに気づかせる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A子さんのお母さんには「上手な買い物」という視点から説明してもらう 	
まとめる	<p>3 上手な買い物をするために考えなければならないことをまとめる</p> <p>4 本時を振り返り、まとめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ A子さんのお母さんや教師の買い物の失敗例なども話しながら、買い物をするときはさまざまな観点があることに気づかせ、賢い消費者としての買い物の仕方をわからせる ・ 本時の学習を振り返り、わかったことを学習シートに記述させる 	

【補充資料6-⑨】

⑨わたしたちにもできること（第12時／全17時間）

1 ねらい

スーパーマーケットにあるリサイクルボックスなどについて調べ、買い物をしながら消費者である自分たちにもできる工夫があることに気づき、行動につなげることができるようにする。

2 展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点 (◎仮説にかかわる手だて)	資料
つかむ	1 店にある回収箱（リサイクルボックス）をみて話し合う なぜ牛乳パックを回収しているのか	<ul style="list-style-type: none"> 一部の子供たちが見学中に気づいていた回収箱の写真を提示する ◎牛乳パックのリサイクルを一例として取り上げ、考えさせる 回収の意味を国語辞典で調べる 	<ul style="list-style-type: none"> 回収箱（リサイクルボックス）
追究する	2 回収箱に集めているわけを考える (1) 予想する (2) 店長さんの話を聞く 集めているもの ・食品トレー ・牛乳パック ・アルミ缶 3 「リサイクル」「エコマーク」について考える (1) 「リサイクル」とは (2) 「エコマーク」とは	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活を振り返って予想させ、発表させる。 店長さんの話を聞きながら、牛乳パックのリサイクルについてまとめる。 リサイクル、資源の意味を国語辞典で調べる 盛岡市や町内会、子供会で行っている資源回収への家庭の協力を関連させる 「リサイクル」は、資源再利用であることに気づかせる 「エコマーク」のついている品物を提示して、その意味をわからせる 	<ul style="list-style-type: none"> 店長さんの話 回収される宝物 エコマークのついているトイレトペーパー エコバック 写真「回収箱の説明文」 絵「エコマーク」
まとめる	4 わたしにできることをまとめる ・買い物で ・ふだんの生活で 5 本時を振り返り、まとめる	<ul style="list-style-type: none"> ◎日々の生活において「子供である自分」にできることを考えさせ、子供でも消費者の一員として大人と同様に対処していかねばならないことに気づかせる 本時の学習を振り返り、わかったことを学習プリントに記入させる 	<ul style="list-style-type: none"> 絵、写真 店の袋の節約文

【補充資料6-⑩】

⑩スーパーマーケットの見学（第13時／全17時間）

1 ねらい

スーパーマーケットの見学の約束や見学のめあてを確認し、今まで学習したスーパーマーケットにお客さんが多い「ひみつ」を店長の説明を聞きながら実際に店内で確認し、見学カードに整理することができる。

2 展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点 (◎仮説にかかわる手だて)	資料
つかむ	<p>1 スーパーマーケットの見学の約束や見学のめあてを確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>今まで学習した「ひみつ」をスーパーマーケットで確かめよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで自分たちが学習した「お客さんがスーパーマーケットに多く来るひみつ」を実物を見て確かめさせる ・見学できなかったバックヤードも見学させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学カード
追究する	<p>2 店長さんに店内を案内してもらいながら、わかったことを見学カードに書く</p> <p>(1) 見学カードへの記入 (2) 店長さんへの質問 (3) 説明を受けた場所は、学習した「ひみつ」の何に当たるか考える (4) 実際のレジを使わせてもらい、その仕組みを学習する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の見学は、店長の説明を聞きながら今まで学習した「ひみつ」を確かめることを確認する ◎説明の後、その場所で質問する時間をとり、疑問を解決する ◎教師より学習してまとめた工夫の何に当たるか声をかけ、知識と具体物を結びつけるようにする。 ・見学時間は、30分とする 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学カード ・筆記用具
まとめる	<p>3 見学してわかったことを見学カードに整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学をして新たにわかったことや疑問に思ったことを見学カードに記入させ、見学を通して自分がどのように変わったかを意識させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・見学カード

【補充資料6-⑪】

⑪みんなが買い物に行く店 (第14時/全17時間)

1 ねらい

スーパーマーケットと他の店との比較を通して、どの店にもよさがあり販売上いろいろ工夫し、人々の消費生活を支えていることに気づくことができる。

2 展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点 (◎仮説にかかわる手だて)	資料
ねらい	<p>1 最近、買い物をした店について話し合い、学習問題をつかむ</p> <p>(1) 買い物をした店とその場所</p> <p>(2) 店の様子</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>いろいろな店の工夫を調べよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃買い物をしている店の場所、買ったもの、店の様子などを発表させ、多種の店を利用していることを意識させる 	<p>写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケット ・デパート ・コンビニエンスストア ・個人の商店
追究する	<p>2 スーパーマーケットと最近、買い物した店を比べ、話し合う</p> <p>(1) デパートについて</p> <p>(2) 個人の商店について</p> <p>(3) コンビニエンスストアについて</p> <p>(4) 郊外の大型店について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店の大きさ、構え方 ・店で働いている人の数 ・お客さんの数 来る範囲 ・買い方、売り方 ・店で働く人の対応 ・ちらし(広告、宣伝、コマーシャル) ・好き嫌い など 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃利用している店(スーパーマーケット)とデパート、コンビニエンスストア、個人の商店とを具体的に比較させながら考えさせることで、それぞれの店のよさ、販売上の工夫に気づかせる。 ・デパート、個人商店、コンビニエンスストア、郊外の大型店の特色を一覧できる表にまとめ、違いをわからせる ◎それぞれの店について、工夫を考え、友達の考えも参考にしてみよう。 ・どこの店も、品質管理、並べ方、価格、宣伝、広告など、売るための工夫をいろいろしていることをわからせる ・お客さんが来なければ店を閉じなければならぬ例などを通して、どの店も他店と競争していることに気づかせる 	<p>ビデオ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな店の様子 ・デパートの広告 ・小売店の広告 ・テレビのコマーシャル
	<p>3 スーパーマーケットとそれらの店の似ているところを話し合う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・共通点、特徴などについて自分の考えを発表し合う 	
まとめる	<p>4 本時を振り返り、まとめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り、学習プリントに記述させる 	

【補充資料6-⑫】

⑫紙芝居づくりと発表会（第15、16、17時／全17時間）

1 ねらい

これまでの学習を振り返りながら、スーパーマーケットで学習したことを中心に紙芝居にまとめ、発表することができる。

2 展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点 (◎仮説に関わる手だて)	資料
つかむ	1 これまでの学習場を振り返る ・買い物調べ ・スーパーマーケットに客が来るひみつしらべ（店の人の工夫） ・上手な買い物 ・わたしたちにもできること ・店の比較	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習に活用した資料を提示し、学習場面の想起を図る 「スーパーマーケットに紙芝居を展示する」というめあてをもたせ、まとめの学習に意欲的に取り組ませる 	<ul style="list-style-type: none"> 学習に活用した資料
追究する	2 スーパーマーケットで学習したことを紙芝居にまとめる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> スーパーマーケットの学習をしてわかったことを紙しばいにまとめよう </div> (1) まとめ方 一人1～2枚 (2) 絵 自分で表現したい場面を決める (3) 表現 クレヨンを中心とする (4) 製作 3 紙芝居の発表会をする	<ul style="list-style-type: none"> 紙芝居の作り方を確認させ、これまでの学習で心に残っていることを表現させる。 自分で表現したい場面を主体的に決定させる 	<ul style="list-style-type: none"> 画用紙 クレヨン
まとめる	4 それぞれの紙芝居のよさについて話し合う 5 本時を振り返り、まとめる	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返り、わかったことを学習プリントに記述させる 	

【補充資料7-⑦】

わたしたちもやってみよう（上手な買い物をするために）

わたしたちもやってみよう 月 日 ()

組 はん

買ったもの < >

わかったこと、考えてみたいことを書みましょう

今日のべんきょうをふりかえて

自分で考えて予想を書いたことができたか？

お母さんがどんなことに気をつけて買い物をしているか調べることができましたか？

家の買い物のようすを思い出しながら、考えることができましたか？

べんきょうのしかたがわかりましたか

【補充資料7-⑧】

わたしたちもやってみよう（リサイクル）

わたしたちもやってみよう 月 日 ()

組 はん

国語じてんを使ってことばのしらべましょう

< >

店長さんの話から
すれば () になりますが、
() すればしげんになります。
す。() したものを
() して、トイレトペーパーなどの新しい品物がつくられるのですよ。

ユニバースサウン松園店では、ほかになにをかいしゅうしていますか？

ビン、カン、だんボール、ペットボトル、かんでんちも、わけてかいしゅうしています。それは、4年生で勉強することになります。

わかったこと、考えてみたいことを書みましょう

今日のべんきょうをふりかえて

自分で考えて予想を書いたことができたか？

国語じてんを使ってことばのいみを調べることができましたか？

家の買い物のようすを思い出しながら、考えることができましたか？

べんきょうのしかたがわかりましたか

【補充資料7-⑨】

みんなが買い物に行く店（それぞれの店の良さの比較）

みんなが買い物に行く店					組	はん	
お店の種類					わかったこと、考えてみたいことを書みましょう		
自分が考えたお店の工夫							
友だちが考えたお店の工夫							
					今日のべんきょうをふりかえって いろいろなお店の工夫について、友だちの考えを聞いてなるほどと思いましたが？ いろいろなお店の工夫について、自分の考えを書くことができましたか？		
					前にべんきょうしたことや生活したことを思い出しながら、考えることができましたか？ べんきょうのしかたがわかりましたか？		